

K E
気

SGH 通信

K O H
高海を素材とするグローバルリテラシー育成
～東日本大震災を乗り越える人材を目指して～

第 8 号 平成 29 年 3 月 24 日発行

「地域社会研究」学年発表会（1年生）・「課題研究」発表会（2年生）を開催

1月28日（土）、1年生が学校設定科目「地域社会研究」で取り組んできた成果の発表会を行いました。これまでご指導いただいたアドバイザー、フィールドワークでお世話になった気仙沼市役所や市内の事業所・企業、管内小中学校の教員、県内の高校教員、保護者、学校評議員、地元の新聞社、県内の大学生・大学院生など多くの方をお招きし、全65班が各自の研究成果をポスターセッション方式で発表しました。開会前には昨年、地域社会研究の先行的な取り組みとして「総合的な学習の時間」で行った2年生に対し、リハーサルを兼ねて発表。2年生は1年前に研究したテーマに類似したものと積極的に質問をしたり、アドバイスを送る姿が見られました。本番は、領域ごとにA・B・Cの3つのグループに分かれ、Aグループの発表をB・Cグループの生徒と参観者が聞いて回るという方法で実施し、アドバイザーの先生方には、指導していただき領域の全班の発表内容を評価してもらい、領域ごとの優秀賞5班を決定しました。優秀賞5班の中から、さらに最優秀賞2班を選考し、その2つの班は2月18日（土）に福井県立若狭高校でも発表を行いました。

2年生は、2月7日（火）の5～7校時に「課題研究」発表会を行いました。昨年度、地域社会研究の先駆けとなる「気仙沼のために何ができるか」というテーマのもと、グループ研究を行った2年生は、今年度「課題研究」にチャレンジしました。研究したい学問領域が類似しているメンバーで編成した全54班が「解明したい課題」を設定し、研究に取り組みました。発表方法は1年生と同様にA・B・Cの3グループに分かれ、ポスターセッション方式で行い、6領域の中で最も評価の高かった班は、2月13日（月）に2年生全員の前でスライドを使って発表。最優秀賞と優秀賞の班は3月18日（土）の総合学習発表会に2年生の代表として発表しました。

1年 地域社会研究 学年発表会



2年 課題研究 学年発表会



総合学習発表会～1年間の成果を披露～

3月18日（土）、1・2年生が一堂に会し、今年1年間のさまざまな取組の成果を代表生徒が発表しました。SGH運営指導委員、地域社会研究のアドバイザー、宮城県教育委員会、フィールドワークでお世話になった企業・事業所・市役所の職員、市内を中心とする小中高の教員、地元の報道関係者、大学生、保護者など多くの方々に参観していただきました。また、先輩となる気高生の取り組みをぜひ見て欲しいという思いから、入学試験の合格者にも案内をし、30名を

総合学習発表会 生活防災委員会



超える入学予定者が見に来てくれました。中学校の制服を着た後輩を前に、ステージに立った代表生徒たちは、いつもより気合いが入った表情に見えました。

総合学習発表会 発表プログラムと発表生徒

発表Ⅰ 1年生 「地域社会研究」代表発表

- 【優秀賞】 ①海の文化：気仙沼みなと祭りの観光客を増やすことはできるのか
312 班 千葉凌我 高橋朋花 米倉果林 村上結佳 千葉陸斗
- ②三陸の海：震災前と震災後の水質で生態系に影響はあったのか
432 班 佐藤優成 畠山紗奈 三浦恵里佳 及川希
- ③海と防災：仮設店舗の復興は順調なのか
542 班 佐藤日和 神山真由 小野寺苑果
- 【最優秀賞】 ①海と産業：どのような教育観光が気仙沼に学生を集められるのか
125 班 佐藤俊太 小山健介 佐々木俊輔
- ②海と人間：気仙沼のコミュニティのために、高校生ができること
241 班 熊谷みのり 泉祐芽 佐藤琴海 菅原碧 鈴木ゆか

発表Ⅱ 2年生 総合的な学習の時間「課題研究」代表発表

- 【優秀賞】 文章表現における日本と海外の違いを理解すれば英語でのよりよいコミュニケーションはとれるのか

1 D 班 遠藤志帆 及川志帆 及川斐那乃

- 【最優秀賞】 地震につよいまちづくりを維持していくことはできるのか

1 0 B 班 熊谷綾乃 佐藤夏野 千葉優美子 皆川しずく 阿部真弓

発表Ⅲ 英語コンテスト入賞者発表

- 【暗唱の部：最優秀賞】 タイトル：Going into Space 小松佳奈（1年）

- 【自由英作文の部：最優秀賞】 タイトル：Identity 千葉優美子（2年）

発表Ⅳ 「世界津波の日」高校生サミット参加報告

報告者：安野紗菜（2年）・佐藤琴海（1年）

発表Ⅴ 「Express Yourself! 2016」短期語学研修 参加報告

報告者：2年（3名）鈴木美波 熊谷亜莉咲 三浦優花

1年（5名）三浦あやね 阿部海里 佐藤琴海 尾形友萌 後藤理菜

発表Ⅵ 生活防災委員会活動報告～生徒主体の防災訓練の実施～

報告者：委員長・吉田怜（2年） 委員：小野寺礼嗣（2年）

2月～3月、発表・交流の機会がたくさんありました。

2月5日（日）、第4回全国海洋教育サミットが東京大学で行われ、1年生19名が参加し、12月の選考会で選ばれた5班がポスター発表を行いました。2月18日（土）には福井県立若狭高校のSSH研究発表会に1年生10名が参加し、1月の学年発表会で評価が高かった3班が発表してきました。3月18日（土）・19日（日）には仙台白百合女子大学で行われた「第1回東北地区SGH課題研究発表フォーラム in 杜の都」に1年生10名が参加しました。東北地区のSGH校・アソシエイト校が集まり、お互いの研究成果をスライド（英語または日本語）やポスターで発表しました。19日には会場を東北自治総合研修センターに移し、参加者全員で「模擬国連」を行いました。

APU（立命館アジア太平洋大学）に行ってきます。

3月26日（日）から28日（火）の3日間、2年生10名と1年生9名が大分県にあるAPUでの研修に出発します。APUは、常時75～85カ国・地域の学生を受け入れている大学であり、外国人大学生と交流を深め、異文化を理解するとともに英語でのプレゼンテーション能力の基礎を学んできます。研修の様子は平成29年度のSGH通信でお知らせします。